平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名　クラボウ(倉敷紡績株式会社)　　上場取引所　東
コード番号　3106　URL　http://www.kurabo.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 井上　晶博
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財経部長　(氏名) 藤井　裕詞　TEL 06-6266-5136

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	38,179	3.7	△134	―	346	240.9	△380	―
25年3月期第1四半期	36,810	△2.6	167	△85.9	101	△92.7	△215	―

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　1,479百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△697百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△1.65	―
25年3月期第1四半期	△0.93	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	181,328	88,708	47.1
25年3月期	180,705	88,405	47.2

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　85,378百万円　25年3月期　85,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	5.00	5.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,700	△1.7	500	△49.4	500	△15.4	200	△59.7	0.87
通期	153,000	4.1	3,200	19.8	3,300	46.2	1,800	111.3	7.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	246,939,284 株	25年3月期	246,939,284 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	16,233,569 株	25年3月期	16,227,899 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	230,708,534 株	25年3月期1Q	230,720,494 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（平成２５年４月１日～平成２５年６月３０日）におけるわが国経済は、株価の乱高下など不安定要素があったものの、株式市況の回復による消費者マインドの改善や政府の経済対策による公共投資の増加など、景気回復の兆しも見え始めました。

当社グループの主力である繊維部門が属する天然繊維業界においては、製品デフレにいまだ変化は見られず、きびしい状況が続きました。

非繊維部門の主要販売先である自動車業界は、エコカー補助金終了後の落ち込みからの回復が緩慢で、生産、新車販売ともに低調でした。一方住宅関連業界は、復興需要の下支えもあり、新設住宅の着工は持ち直し傾向で推移しました。

このような環境下にあって当社グループは、事業環境の変化にフレキシブルに対応し、着実に収益をあげることのできる事業基盤の構築を目指し、新たな成長戦略である新中期経営計画「Ｆｕｔｕｒｅ’１５」を本年４月からスタートしました。

しかし、当社グループを取り巻く環境はきびしい状況が続いたことなどから、当第１四半期連結累計期間の売上高は３８１億円（前年同期比３．７％増）、営業損失は１億３千万円（前年同期は営業利益１億６千万円）、経常利益は３億４千万円（前年同期比２４０．９％増）、四半期純損失は３億８千万円（前年同期は四半期純損失２億１千万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(繊維事業)

ユニフォーム分野ではワーキング用素材が引き続く在庫調整の影響により需要が落ち込み、またカジュアル分野、デニム分野も低調に推移しましたが、原糸分野はグローバル生産・販売が堅調に推移しました。

海外子会社におきましては、ブラジルが市況回復基調にあり、また東南アジアでも洪水被害を受けたタイの子会社の生産設備が完全復旧したことにより、堅調に推移しました。

この結果、売上高は２２８億円（前年同期比８．８％増）となりましたが、きびしい環境が続いたことなどにより２千万円の営業損失（前年同期は営業損失３億６千万円）となりました。

なお、デニム事業再編の一環として、香港の子会社株式を売却する一方、コスト競争力の強化及び販路の拡大を目指し、新たに合弁会社を設立しました。

(化成品事業)

自動車内装材向け軟質ウレタンフォームは、国内自動車生産の低迷や中国における労務費を始めとするコストアップなどの影響により、きびしい状況が続きました。

住宅建材分野では、住宅外装化粧材などの新商品が好調に推移しましたが、機能フィルム分野は、原料のコストアップの影響に加え、三重工場の建設に伴う償却負担もあり、低調に推移しました。

この結果、売上高は９６億円（前年同期比５．２％減）、営業損失は１億４千万円（前年同期は営業利益１億６千万円）となりました。

(不動産活用事業)

不動産業界全般がきびしい状況にあるなか、賃貸事業の推進に注力した結果、売上高は１５億円（前年同期比０．５％増）、営業利益は７億６千万円（同０．４％増）となりました。

なお、三重県津市の遊休地につきましては、本年５月より大規模太陽光発電所（メガソーラー）用地として賃貸を開始しました。

(工作機械事業)

主力の横中ぐりフライス盤は、国内販売は低調に推移しました。また輸出は、北米向けは堅調に推移したものの、中国向けや欧州向けが低迷しました。

この結果、売上高は１４億円（前年同期比９．２％減）、営業利益は１億２千万円（同５０．２％減）となりました。

（エレクトロニクス事業）

自動計量装置や攪拌脱泡装置は堅調に推移しましたが、赤外線計測システムや生産管理システムが低調に推移したことに加え、売上が第２四半期及び第４四半期へ集中する傾向にあることから、売上高は５億円（前年同期比８．４％減）にとどまり、営業損失は２億１千万円（前年同期は営業損失２億円）となりました。

（その他の事業）

エンジニアリング事業は、焼却装置は低調に推移しましたが、ガス処理装置は堅調に推移しました。

バイオメディカル事業は、受託解析サービスは堅調に推移しましたが、核酸自動分離装置は低調に推移しました。

食品事業は、健康食品向け製品は低調に推移しましたが、スープ市場向け及び製菓向け製品が堅調に推移しました。

この結果、その他の事業の売上高は２０億円（前年同期比１３．５％増）、営業損失は１億３千万円（前年同期は営業損失１億４千万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金は減少しましたが、売上債権やたな卸資産が増加したことなどにより、１，８１３億円と前連結会計年度末に比べ６億円増加しました。

負債は、賞与引当金や事業構造改善引当金は減少しましたが、短期借入金が増加したことなどにより、９２６億円と前連結会計年度末に比べ３億円増加しました。

純資産は、利益剰余金は減少しましたが、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、８８７億円と前連結会計年度末に比べ３億円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は０．１ポイント低下して４７．１％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第２四半期（累計）（平成２５年４月１日～平成２５年９月３０日）及び通期（平成２５年４月１日～平成２６年３月３１日）の連結業績予想につきましては、現時点では平成２５年５月８日に公表しました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,384	12,395
受取手形及び売掛金	37,957	38,869
有価証券	182	501
商品及び製品	14,375	13,956
仕掛品	6,641	7,676
原材料及び貯蔵品	5,093	4,819
その他	5,751	6,374
貸倒引当金	△138	△96
流動資産合計	83,246	84,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,132	26,590
その他（純額）	29,946	29,834
有形固定資産合計	57,078	56,424
無形固定資産	1,641	1,356
投資その他の資産		
投資有価証券	33,848	34,136
その他	5,169	5,209
貸倒引当金	△277	△293
投資その他の資産合計	38,739	39,052
固定資産合計	97,459	96,833
資産合計	180,705	181,328
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,784	20,257
短期借入金	26,661	28,246
未払法人税等	797	441
賞与引当金	1,229	465
事業構造改善引当金	1,483	980
その他	9,172	9,166
流動負債合計	59,128	59,558
固定負債		
長期借入金	3,403	3,810
退職給付引当金	7,970	7,814
役員退職慰労引当金	205	158
その他	21,591	21,278
固定負債合計	33,171	33,062
負債合計	92,300	92,620

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,040	22,040
資本剰余金	18,207	18,207
利益剰余金	48,187	46,653
自己株式	△2,965	△2,966
株主資本合計	85,470	83,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,549	8,896
繰延ヘッジ損益	67	75
為替換算調整勘定	△8,711	△7,528
その他の包括利益累計額合計	△94	1,443
少数株主持分	3,030	3,329
純資産合計	88,405	88,708
負債純資産合計	180,705	181,328

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	36,810	38,179
売上原価	31,457	32,735
売上総利益	5,353	5,443
販売費及び一般管理費	5,186	5,578
営業利益又は営業損失（△）	167	△134
営業外収益		
受取利息	32	31
受取配当金	327	347
持分法による投資利益	1	9
為替差益	－	259
その他	67	184
営業外収益合計	428	831
営業外費用		
支払利息	143	146
その他	350	204
営業外費用合計	493	351
経常利益	101	346
特別損失		
関係会社株式売却損	－	449
災害による損失	150	－
特別損失合計	150	449
税金等調整前四半期純損失（△）	△48	△103
法人税等	227	295
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△276	△399
少数株主損失（△）	△61	△18
四半期純損失（△）	△215	△380

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△276	△399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,275	346
繰延ヘッジ損益	△79	7
為替換算調整勘定	906	1,472
持分法適用会社に対する持分相当額	27	51
その他の包括利益合計	△420	1,878
四半期包括利益	△697	1,479
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△768	1,157
少数株主に係る四半期包括利益	71	321

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他の事業（注）１（百万円）	合計（百万円）	調整額（注）２（百万円）	四半期連結損益計算書計上額（注）３（百万円）
	繊維事業（百万円）	化成品事業（百万円）	不動産活用事業（百万円）	工作機械事業（百万円）	エレクトロニクス事業（百万円）	計（百万円）				
売上高										
外部顧客への売上高	21,031	10,214	1,517	1,568	648	34,980	1,830	36,810	－	36,810
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	7	42	0	4	59	508	568	△568	－
計	21,035	10,222	1,559	1,569	652	35,039	2,339	37,379	△568	36,810
セグメント利益又は損失（△）	△365	166	761	241	△206	596	△143	453	△286	167

（注）１．「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、バイオメディカル事業、食品事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△286百万円には、全社費用△277百万円及びその他の調整額△８百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他の事業（注）１（百万円）	合計（百万円）	調整額（注）２（百万円）	四半期連結損益計算書計上額（注）３（百万円）
	繊維事業（百万円）	化成品事業（百万円）	不動産活用事業（百万円）	工作機械事業（百万円）	エレクトロニクス事業（百万円）	計（百万円）				
売上高										
外部顧客への売上高	22,878	9,678	1,525	1,425	593	36,101	2,078	38,179	－	38,179
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	6	41	0	4	56	42	99	△99	－
計	22,882	9,684	1,566	1,425	597	36,157	2,121	38,278	△99	38,179
セグメント利益又は損失（△）	△21	△144	764	120	△212	505	△135	370	△504	△134

（注）１．「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、バイオメディカル事業、食品事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△504百万円には、全社費用△506百万円及びその他の調整額１百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。